

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

# ZION

シオン

No.

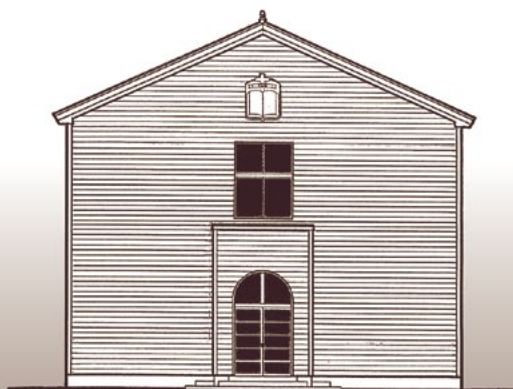
31

2011

**We are with you.**

これからも、心ひとつに。

一日も早く復興されるよう心からお祈り申し上げます



SHION  
MEMORIAL  
HALL

# 音楽・料理・タバスココレクション… 人生の楽しみはまず祈りから

地理・歴史担当 船生宏司先生 水戸市在住

取材のお願いをすると、「いいですよ！何の問題もありません」と、快いお返事をいただいた。

取材場所はサザコーヒー本店。小雪がちらつく午後、先生はグリーンのベンチコート姿で颯爽とお見えになった。コートの背中には見覚えのある大きなロゴマークが…。「TABASCO」(※)とある。衿元のネクタイやリュックにも同様の絵柄がプリントされている。アメリカで購入した二本のネクタイから始まったタバスコグッズコレクション。モーツァルト作曲の四十二ある交響曲の数だけ集めるつもりが…。百点を超えたとか。

先生はいわき市のご出身。「父は日本舞踊、謡、茶道を嗜む風流な人でした」。お母様のご実家は「岡田牛乳店」。アイスクリームを食べ放題の何とも羨しい少年時代を過ごされた。

県立磐城高校から茨城大学人文学部、東洋大学哲学科へ進まれ、ドクターコース在学中、学園に奉職された。

奥様との馴れ初めは？

「大学三年の時に茨大の吹奏楽団で知り合いました。妻は一年生でした」。おふたり共クラリネットパート。ドクターコース修了を待たずに結婚された。奥様は現在、公立小学校の校長をされている。

保育園児であった頃、好きな曲を歌うように促され、「シューベルトの子守唄」を歌った逸話をお持ちの先生は、教会で聖歌先唱者(カントール)を務めたり、クリスマスキャロルやデキシランドのバンドでもその美声を披露されている。また茨城交響楽団では、理事として団の運営に拘る一方、指揮をされたり、自らも演奏されている。

日課は二、三年前から続けているジョギング。キャンパスや自宅付近を五キロ三〇分のペースで走る。

お料理はなさいますか？

「勿論！和洋中何でも作りますよ」。お得意レシピは「ポトフ」。具材をロー



ストして煮込むと味に深みができるのだとか。市販品に手を加えて好みの味に仕上げることもある。「アーモンドクッキーも焼きますよ」。先生恐れ入りました！脱帽です！！  
最後に座右の銘を伺った。  
Draet labora (Pray, and work)  
祈れ、そして働け！

この言葉はカソリック教会・ベネチクト会のモットーである。

「生徒に向うことは我が子に向うこと。クリスチャンであることは喜びであり、苦しさも伴いますが、学園に呼ばれ仕事ができる幸せを感謝しています」。

(取材日：二月十四日 / B R T S)

※タバスコペッパーで作った調味料  
(登録商標された商品名)





昭和 57.58.59年  
1982~1984  
33.34.35回生  
を  
の  
あ



# 後輩よ、甲子園を目ざせ!

………… 野球部OB熱く語る ……………

## 証言①今橋厚司 (34回生/主将/内野手)

この写真は、日立市長杯で優勝した時のものです。怪我をして自主練の成果もあがらず悩んでいた頃でした。「退部しよう」と考えたこともあったんですよ。そんな私が新キャプテンの大役をこなせたのは、仲間達の支えがあったからです。

## 証言②山崎健一 (33回生/主将/外野手)

この日を鮮明に覚えています。日立工業高校との決勝戦。この回を守れば優勝!この時、先頭バッターの無回転ライナーを体験しました。ボールの縫い目のはっきり見えて、上下左右に揺れながら、飛んできたんです。グラブに入った瞬間「ホッ!」としました。

## 証言③石黒文明(34回生/内野手)

厳しかった練習のひとこまひとこまが懐かしいですねえ。常にプレッシャーを感じ立ち向かう毎日。一球毎に気を張りつめながらプレーしてました。スキー合宿は楽しかったですねえ。元日に心ゆくまで食べた雑煮の味は最高でしたよ。

## 証言④吉井明彦(34回生/外野手)

なかなかレギュラーになれずにいた私のために、練習につき合い励ましてくれた友人に感謝しています。その甲斐あって3年夏の大会には、レギュラーとして出場できました。時々、野球の話肴に酒を呑むのが楽しみなんです。

## 証言⑤板津伸祐(34回生/内野手)

当時は肩を痛めるので水泳禁止。水もあまり飲めず、炎天下での毎日が地獄でしたねえ。でも、13名の同級生部員と

分かち合った感動や苦しさは、確実に自分の力になりました。

担任の有馬先生はすごく厳しく、足音が聞こえると震えあがっていましたよ。今では笑い話ですが…。

## 証言⑥中田裕二(35回生/内野手) 現野球部監督

とにかく、「すべてに厳しかった!」のひとつです。休日も殆どなかったと記憶しています。筋トレひとつにしても、先輩についていくのがやっと。練習が終わって一息ついていると、日付が変わっていました。

先輩ですか? 恐かったですよ。監督はそれ以上に恐ろしい存在でした。

## 元監督 有馬正人先生談

この頃の選手達はやんちゃでしたねえ。かなり「びしびし」鍛えました。「その後の人生に役立ってくれば…」との願いでしたよ。





内田浩司  
(30回生)  
水戸市在住

## 50歳、同窓会開こうや!

“海釣り”が趣味。釣った魚を自分でさばき料理して、家族が喜んでくれるのが何より嬉しいという浩司さん。

浩司さんのお父さんの早俊さん(2回生)、弟さん、娘さん(現在3年在学中)とシオン家族である。

高校時代は剣道部の主将。部員をまとめ、毎日練習に精を出し、仲間と一緒に大いに青春を謳歌したという。

今はお父さんの仕事の後を継ぎ、幼児教育に関する商品販売、総合サービスを経営している。

50歳になる。これからは、仕事の延長として地域の人達と共に、未来を担う子供達の育成と支援に一肌脱ぎたい、と意欲満々である。

## 常陸秋そばで、いいとも!!

手打そば屋“いい友”は、常陸太田市高貫町の丘の上にある。木造建築が本職のご主人が建てた店のまわりには2ヘクタールのそば畑。とことん熱中人のご主人はそばを自家栽培。店内の家具も手作りとかだわる。花柄のスカーフをキリッと頭にまいて早苗さんは、人気季節メニューの野菜天ぷらを揚げている。ハスキーボイスでゆったりと話す、やわらかな笑顔の早苗さんは、力強くそばを打つ御主人との絶妙なコンビネーションで店を切り盛りしている。

金土日3時までの営業に、口コミで評判を聞きつけたそば通が、曲りくねった山道をわんさか登ってくる。「お客様にここまで育てて頂いたのよ」とほほえんだ。



武子早苗  
(20回生)  
常陸太田市在住



兩貝洋  
(10回生)  
水戸市在住

## 50歳からのフルマラソン

勝田マラソンでは10キロを走る現役ランナーの兩貝さん。高校では新聞部で学校新聞を創刊。ワングル部では今年亡くなられた同窓会役員の来栖さん達と登山に明けくれた。大学は空手に打ち込み、武勇伝も数々ありだとか。

ところが、建設会社を起し働き盛りの43才頃から仕事の事故で次第に視力を失うことに。OB会でも続けていた登山やスキーは断念した。山がだめなら平地を走ろうと、50才からマラソンにチャレンジ。さすが根っからのスポーツマン。わずかな視力をたよりに伴走者なし、ひとりで走る。60才までは42、195キロを幾度も完走。日焼けした笑顔は若々しく、もうすぐ喜寿とは、おそれいります。

●いま輝いています●  
DCブランドメーカーで自社の広報や販売促進を行う、プレスは、おしゃれに敏感な女性にとって憧れの職種である。  
中学高校時代から、ファッション雑誌や大人の女性向けモード雑誌を見るのが大好きだった貴美子さんは、桜美林大学英文科を卒業後、念願のアパレルメーカー「トゥモローランド」に入社。ショップスタッフとしてデパートの売場で商品販売の経験を重ね、その後、現在の販売促進部に配属された。  
プレスの仕事は、既製服をメインにバッグや靴、アクセサリーなどの商品情報を、各種メディアを通して紹介し、より多くの人に認知してもらい、いかに購買力をあげ販路を拡大させるかが勝負だ。ライフスタイルをコーディネートすることにより、自社商品のイメージが広がる。その手段として、女性誌に着こなしのアドバイスをしたり(自らモデルになることもある)、毎日持参する手作りのお弁当レシピを紹介したりと、様々な生活の場面に生かされる情報を提供している。

●いま輝いています●  
**Bright**  
“おしゃれ”を  
プロデュース  
(株)トゥモローランド販売促進部  
手塚貴美子(46回生)  
東京都世田谷区在住



この春、銀座にオープンした路面店のオープニングでは、プレス関係者多数を招待し、スタッフの一員としてパーティーを成功させた。

休日返上の多忙な日々を癒すのは、オーガニック製品の数々。マテ茶や果実系のお茶は欠かせないアイテムだ。最近は自分の体ときちんと向き合うことを心がけ、ストレッチや住まいのある自由ヶ丘



## 地球へ挑戦

将来の夢はズバリ、科学の研究者になること。中高一貫制の第一期生である。中学から続けていたテニス部をやめ、高3の時に物理部に入り物理関係へ進学をきめた。ならば各分野の研究がトップクラスの京都大学へと。見事地球工学科へ入学した。

京都の街を自転車で乗って走るうちに、有名な観光地以外の知られざるお寺などを探してみたり、日本古来の武術を鑑賞したりすることが楽しみになった。自由な校風の中で、理系科目に偏らずにラテン語、哲学、心理学などあらゆる知識を身につけたいと語る。さて、土木、環境、資源、どの分野で地球にアタックするのか、楽しみである。



橋本智行  
(60回生)  
京都大学工学部地球工学科在籍



高藤清美  
(60回生)  
水戸市酒門町在住

## 充実のアラサー

毎日コンピューターの前で記号や数字を打ち込んでいる。ひたちなか市にある(株) SAYコンピューターでプログラマーとして、洪水の管理、放射線の管理、はたまたカーナビのデータの基を作ったり等々、仕事は多岐にわたる。

そして休日は海の中に潜る。スキューバダイビングの資格を取った。まだ初級ではあるが、時々伊豆へ行って海に潜る。何よりの気分転換だ。この行動力、実は高校の時生徒会長であった。顧問の有馬先生をバックに野球部男子を助っ人としてクラスマッチを実行!

今、仕事も3年目、ダイビングも上をめざす。そして3人姉妹の上のお姉さんのように結婚も…。20代最後を大いに楽しんでいる。

## 私も“ダンシャリアン”

ラケットを振り切った瞬間の壮快感がたまたま、中学高校と軟式テニス部に籍を置き楽しんだ。夫の信宏さんとは“テニスコートの恋”が実りゴールイン。息子の賢悟君は、昨年学園内に開園した、キリスト教聖児幼稚園大みか園に通園している。同幼稚園の教師経験がある道子さんは、一父兄として父母の会委員を引き受け、昨年度は文集発行で活躍した。

「夫と息子が手枕で寝ている姿は、まるでドラえもん“スモールハット”を当てたようにソックリ! 性格もよく似ているんです」。

ライフスタイルの基本は、今話題の新片づけ術「断捨離」。スッキリとしたシンプルライフを心がけている。



菊澤道子  
(旧姓藤森40回生)  
日立市大みか町在住

## 夫婦シオン

広木修造(19回生)

明子(旧姓桜岡・19回生)

常陸太田市在住



### 「妻はマドンナでした」

早朝から夫婦そろって、自宅近くの工場で学校給食用のパンを焼き、子ども達の待つ大子東海地域の学校へ届けている。お祖父さんから受け継いだ「子ども達に美味しいパンを!」をモットーに、体にやさしいパン作りに日々研究努力を重ねている。

修造さんは高校野球部のエース。明子さんは憧れのマドンナ。修造さんの情熱的な気持はスト

レートに届き、明子さんのハートをキャッチ!それから共に歩み、昨年元気に還暦を迎えた。

息子さん2人も44回、59回生のシオンファミリーだ。

修造さんの趣味はゴルフ。年とともに飛距離が伸びないのが悩みとか。8月には、神輿を担いで町に繰り出すのを楽しみにしている。



から駒沢公園附近をウォーキングすることも始めた。  
「ファッションには不思議な力があります。落ち込んでいる時に装うことで精神的に癒され、生き方にも影響があるように思います」。水戸の両親のもとへ帰るのは年に数回。大先輩である母親の正子さん(十九回生)からの言葉、「お陰様での気持を忘れずに」を大切にしている。



## 同窓会員名簿が完成しました!!

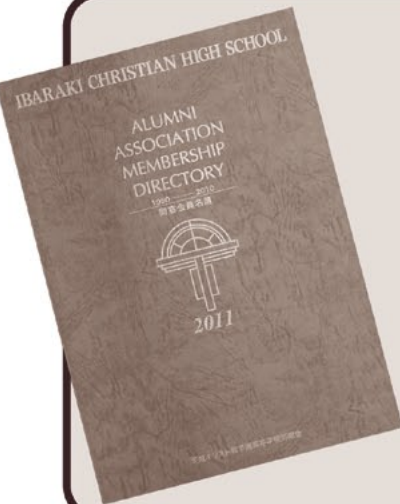
かねてより同窓会の念願であった会員名簿が出来上がりました。約1年間の編集期間中に起きた東日本大震災のため、予定より約ひと月遅れて5月上旬に発送されました。

完成に至るまで、会員の皆様には多大なご協力を頂きましたことを心よりお礼申し上げます。また、早々にご予約、賛助広告を賜りました方々には深い感謝と共に発行が遅れ心配おかけしました事をお詫び申し上げます。

(名簿作成委員会)

<問い合わせ先>

- 名簿ご希望の方=高校同窓会事務局 TEL0294-52-3215
- 名簿についての問合せ=サラト TEL0120-981-628



### ◆高校新3号館

高校では、2008年に3号館が建て替えられた。半面ガラス張りのその新校舎が通りに向かって存在感を主張している。

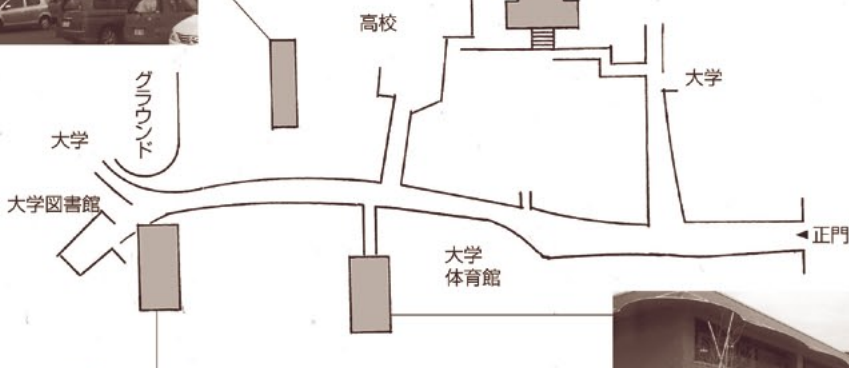


### ◆ローガン・ファックス記念講堂

学園の門に入って右手の奥にある学園講堂(1965年建設)が、2010年2月に改修され、上記の名称になった。外観には手をつけず、内部だけが改修されたが、800席のシートやフロア等は上品な紺とグレー色に統一され、落ち着いた雰囲気である。エントランスホールもスッキリとデザインされ、2階は多目的室として使われる。ステージは照明、音響、空調等が整えられて、学園のみならず外部からの利用も可能となっている。

変りゆくキャンパス  
みませんか!  
歩いて

学園創立60年となると、時代の流れと共に、学園は少しずつ姿を変えてきている。今回は最近建てられた施設について紹介したい。



### ◆大学経営学部経営学科を新設

幼稚園からさらに大学図書館の方へ進むと、その隣に2011年4月に新設された経営学部の方へ進むと、その隣に2011年4月に新設された経営学部の4階建て校舎がそそり立つ。経営学部は、「ハートビジネス、はじめよう」をコンセプトに、高い教養や倫理観(「ハート」)を持ち、幅広い経営学の知識を身につけて、社会活動に参加する(「ビジネス」)人材の育成を目指している。



### ◆認定こども園「みらい」

講堂から坂道を降りて行くと、レンガ造り風の茶色い建物が見えてくる。

聖児幼稚園がキリスト教大学附属聖児幼稚園に名称を変え、学園は小学校を除く乳児から大学院までの一貫した教育が可能となった。2010年4月には、大みか園と茨城キリスト教学園保育園からなる「みらい」が園内に開園した。屋内は壁やフロア等が木材製で優しい環境に整えられ、ステンドグラスのある小さな礼拝堂など全館を通して、あらゆるニーズに応えられる空間作りがされている。



このように、それぞれに新しい展開を見せつつある学園。学園訪問の際には、是非新しい建物に目をとめて頂きたい。



## 秋真っ盛りのシオン祭 アイデア一杯!



秋真っ盛りの中、第62回シオン祭に今年も同窓会が癒しのコーヒーコーナーをメインに参加した。今年は、新しい企画として「フリーマーケット」を導入。「香り」「味覚」「視覚」「コミュニケーション」と、いろいろな出合いをモットーに、新しい触れ合いを体験することができた。皆さんの頑張りもあって、収益は前年比約2割アップの80,096円。参加者全員大満足。来年は新たな企画が出てくるかも。本収益は、同窓会活動資金として有益に使われる。

尚、同窓会と一緒に「このような企画で参加したい」という方がおりましたら、是非同窓会事務局までご連絡を。

### ありがとうございました!

4名の先生方が勇退されました。

久佐野博彦先生(美術) 1971年4月~39年間  
山本幸子先生(保健体育) 2003年4月~7年間  
内村由紀子先生(理科) 2006年4月~4年間  
川又博さん(学園本部へ) 2003年12月~7年間

### 開催しました!!



### ■19回生「Happy-還暦」で学年同窓会

平成22年11月6日(土)、懐かしの担任梅津先生、藤枝先生をお迎えし、学園見学会、還暦パーティー、二次会と、大いに盛り上がりました。還暦のお祝いの歳なのに、顔を合わせた瞬間一挙にタイムスリップし、全員若返って再会を誓い合いました。同窓会って、不思議な特効薬なのかも。



## 日々、猛練習あるのみ!

### ■野球部

昨年の全国選手権茨城大会では、惜しくも準々決勝進出を果たせなかったが、第2シードの水戸桜ノ牧高校戦は11回までもつれる熱戦だった。

部員は約30名。有望な新人も加わり、念願の甲子園出場を目指して、部員、スタッフ一丸となり日々練習に励んでいる。

2006年には、両翼98.5メートル、センター122メートル、天然芝、ナイター設備有、放送室完備の新球場が完成した。

- 部長：有馬正人
- 副部長：杉浦聖美
- 監督：中田裕二
- 主将：眞子貴之(3年)



新総長  
ジム・バットン氏  
に聞く

### INTERVIEW

2010年、本学園総長にジム・バットン氏が就任された。来日して40年、本大学では英語教育に携わってこられた。

就任の抱負は、「英語のシオン」の伝統を守り、さらに、人生を歩むために必要で大事なことを忘れないように建学の精神に基き、身につけるべきものは資格ばかりでなく、人間として本物の品格を備え、社会の中で真のリーダーシップをとれる責任感ある人格を育てて生きたい」と、完璧な日本語で語られた。

#### ジム・バットン総長

1946年生まれ。アメリカ、オクラホマ州出身。1971年テネシー・ユニオンアベニューキリストの教会の宣教師として来日。茨城キリスト教学園大学で、英語語法、異文化間コミュニケーションを教える。2010年総長就任。夫人の美千代さんは高校18回生。

## ●同窓会員の皆様へお見舞いとお知らせ●

この度の“東日本大震災”は巨大な津波を伴い、太平洋沿岸部に壊滅的な事態を及ぼすと共に、茨城、福島を含む東日本地区の同窓生の皆様の地域にも甚大な被害をもたらしました。

地震・津波・放射能の被害を受けられた皆様に懐中よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早く平穏な生活に戻れますようお願い申し上げます。

ところで、この度学校法人茨城キリスト教学園では、東日本大震災に対する支援プロジェクトを立ち

上げ実施することを決定しました。

高校同窓会としましては、被災された本学園在校生、また本学園キリスト教センターを中心としたボランティア活動を支援するためのプロジェクトに協力してまいります。

皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

茨城キリスト教学園高等学校同窓会  
会長・鈴木誉志男

### ◆受付方法

同封の振込用紙に内訳を記入の上送金下さい。  
内容が未記入の場合は、事務局で振り分けさせていただきます。

### ◆受付期間

2011年10月末日

### ◆問合せ先

茨城キリスト教学園高校同窓会  
TEL 0294-52-3215 (内線1620)

この度の東日本大震災による交通・通信の影響を考慮し、本年度の総会（ホームカミングディ）を中止いたしました。会計報告書及び事業報告書を同封しましたので、よろしくお願い申し上げます。尚、ご不明な点がございましたら、高校同窓会事務局へお問合せ下さい。

### 編・集・雑・感

未曾有の災害が発生し、今尚惨絶な状況が続いている。この時期の広報誌発行についてはいくつもの検討を重ね、約2ヶ月遅れで発行することになった。暫しの間ZIONを手に取り、高校時代を思い出し懐かしんで頂ければと思う。

さて、今号から新人4名が加わり、広報委員会は5年振りに若返った。堂々とした頼もしい新人に期待したい。

今年1月、永年にわたり同窓会の役員として、心許い後輩達に示唆を与えてくださった来栖肇先輩（8回生）が亡くなられた。穏やかで、しかし凛然とした厳しさを具えられ、母校である早稲田大学の愛唱歌をこよなく愛された先輩でもあった。ご冥福を心からお祈りしたい。(T.S)

### ●編集スタッフ

ブキャナン理枝子・佐藤寿子・手塚正子・水庭敬子  
須藤利晴・荒川真理子・原田順子・中村潤治・石黒文明

### ●デザイン：M-at



### 鈴木龍夫先生が 新校長に！

かねてより病氣療養中の小澤則男校長に代わり、6月1日付で鈴木龍夫先生が校長に就任されました。

鈴木龍夫先生

### 新・編集スタッフを紹介しま〜す！



須藤利晴  
(19回生)



水庭敬子  
(19回生)



原田順子  
(20回生)



石黒文明  
(34回生)